

令和5年度 第1回外部評価委員会概要報告

- 1 日時 令和5年7月14日（金）午後1時30分～3時30分
- 2 場所 農業大学校 会議室
- 3 出席者
外部評価委員 川原ルミ、三船浩司、日置健生、田中正士
農業大学校 福本校長、門脇副校長、教務科 橋本教授、大澤准教授、金光教育相談専門員
果樹コース 高濱教授、野菜コース 霜田教授、花きコース 岸本教授
作物コース 稲坂教授、畜産コース 瀬尾教授、研修科 矢部准教授
- 4 評価会の前に農大の現地視察
～ 畜産コース（牛舎等） ⇒ 果樹コース圃場 ⇒ 作物コース（機械・道具置き場） ～
- 5 評価システムシート説明
＜資料を基に各担当から説明＞

6 意見交換（計画に対する評価・提言等）

三船委員

- ・兎にも角にも、人に来てもらわなければ始まらないのが大前提で、農業大学校の魅力発信を農業大学校単体でしていてもやはり限界があるのではないかと。やっぱり鳥取で農業をして生き活きと生活しているというような発信を県全体で考えていかないと厳しいのではないかと考えている。県庁の農林政策を推進する部署一緒に魅力発信することを考えて欲しい。
- ・プロジェクト学習について、大変面白いことを行っている。必ずしも良い結果ではないかもしれないけど、学生が新しい視点で見ている可能性があるため、結果については是非とも公開していただき、現場と双方向でできるとありがたい。

日置委員

- ・学校要覧を見て内容は理解できるが、高校生は実際学校に入学してどんなことができるのだろうと考えるので、もっと取得できる資格などしっかり記載してPRしてはどうか。学費等も学校に入学するのに考慮する項目ではあり、寮も1人1部屋使えて良いと思うかもしれない。資格をとって卒業して今こんな仕事をしているということもあって良いのかなと感じた。
- ・普通自動車免許は3.5t未満で、最大積載量2t以下となっている。これは学校ではなく県への要望とだけ思っていたら良いけど、入学したら中型免許の取得に補助をすとかあっても良いのでは。例えば、県内に農業で就職するなら3万円補助みたいな特典があっても良いのかなと思う。
- ・2年間の短い期間の中に、いろいろなことを詰め込んでいくと、バラバラしているように感じるので、一連のことを整頓して今はこのようなことを教えた方が良いとかの、実施できるかわからないが、そのような学習の作り方をした方が良いのではないかとちょっと思いました。例えば、生産工程管理を学ぶのであれば、JGAPでも良いのかも。何もグローバルGAPにこだわる必要はない。

田中委員

- ・学校要覧はできれば卒業生だけでなく学生の声があっても良いのではと思った。実際ここで学んでいる学生がどんな気持ちで学んでいるかと掲載してはどうか。
- ・（評価シートの中には）非農家出身が多いとか農業高校出身でない学生が増えているとか記載されているが、その学生たちが何故農業大学校を選んだのか分析はされてはどうか。また、県外の学生がどの程度いるのかわからないが、農業大学校は県外から来るのに交通便利があまり良い所ところではない。でも県外から鳥取の農業大学校を目指すのは何か理由があったのかというあたりを分析してみるのも良いのではないかと。
- ・農大に入学して農業を目指す、農業方面に進むというのは、ここでの学習に意義があったということで、学生たちが卒業後の進路を選んでいるのではないかと。

川原委員

- ・実際に、今春農業大学校の卒業生1名雇用した。また、昨年からアグリチャレンジの研修の修了生を雇用している。学生の総合的経営能力の向上のところで、学生の就農意欲や体力、学力に幅があると記載があった。自分の会社の栽培品目は重量野菜が多いので、モノを運ぶ体力がついていないと感じた。2年間に基礎体力の向上も必要ではないかと思った。